

九条北小学校 校長室だより

NO.44 令和2年7月13日



★ 2020年7月14日 ~ 木星がいて座で衝 ★

宵のころ南東から南の空に見える木星が、7月14日にいて座で衝（地球から見て、太陽と正反対）となるようです。太陽 - 地球 - 木星がまっすぐに並び、一晩中見やすい時期だそうです。

マイナス 2.8 等級と明るいので街中でもすぐに見つけられる。左（東）には土星が並んでおり、どちらも夏の主役として星空で目立っている。空の条件が良いところでは木星と土星の右（西）に天の川も見えます。また、天体望遠鏡で表面の縞模様や周囲を回る 4 つのガリレオ衛星を観察してみるとさらに面白い。本州付近での南中高度は 30 度ほどとあまり高く上らないが、梅雨明けごろからは見やすい時間帯に南中するようになるので、土星と一緒に観察してみるとよいようです。木星と土星の間隔は 8 月末ごろから小さくなっていき、12 月下旬に夕方の南西の空で大接近する。

★ ~ 「あいさつ」は自分を変える

自分が変われば周りの世界が変わる ~ ★

今日の児童朝会で、「あいさつ」について話をしました。以前に話題になった本「あなたの人生が変わる奇跡の授業」の最初にも、「あいさつ」について書いてありました。**「あいさつ」は自分を変える。自分が変われば周りの世界が変わる**ということです。

「あいさつ」はみんなが大事だと言います。しかし、初めは一生懸命してくれるのに、だんだんできなくなってしまう。「先生が見ていないところではやらない。」とか、だんだん「はずかしい」「めんどくさい」となってしなう。なぜでしょう？

本当に大切なのは、「あいさつが大事だと思う、その心」だと、その本には書いてありました。「本当のあいさつ」とは、「相手の存在を認め、相手に対して心を開くこと」。心を開いてくれる相手には、何とかしてあげたいと思いますよね。困っていたら、力を貸したいとか・・・。

では、「**本当のあいさつ**」とは・・・。こう書いてありました。**「自分から」「笑顔で」「大きな声で」「心を込めて」「相手の目を見て」「言えて、初めて「本当のあいさつ」と言える。**

すでに、そのようなあいさつができている児童もたくさんいます。これから年齢が上がって、中学生になっても、高校生になっても、そして大人になっても、そのような心のこもったあいさつをできる人であってほしいと伝えています。

